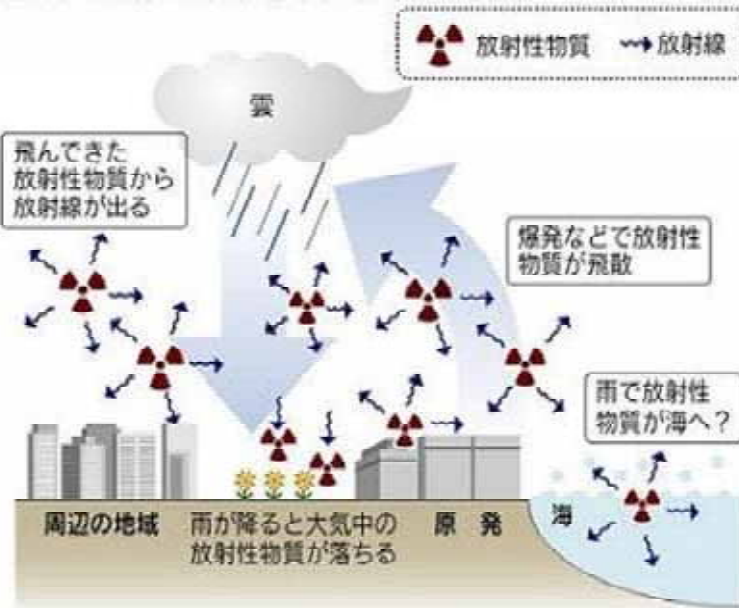


放射性物質から放射線が出るイメージ図



被ばくを避けるための主な注意点

【発生源から離れる】

- ① 肌を露出せず、ぬれたタオルやマスクで鼻、口をふさぐ。雨にぬれない
- ② 室内に入るときは全身を洗い、衣服を処分する
- ③ 窓を閉め、エアコンや換気扇の使用を控える
- ④ 国の指示に従う

Q：被曝の影響は、胎児、乳児、子供、女性、男性によって違いがありますか？

A：放射線による人体への影響は、細胞分裂の際に表れるとされ、特に成長のための細胞分裂が盛んな子供と大人とでは大きな違いがあります。

たとえば、癌の発生率は被曝した時点での年齢に依存して、10歳未満で被曝した場合、それ以上で被曝した場合に比べて明白に高く、特に白血病や甲状腺癌で顕著です。

全ての癌を含めると、子供の発癌リスクは成人よりも数倍高いと報告されています。

また女性と男性を比べると、発生部位により差があって、特有の癌も存在しますが、全